

## TTC 定例山行実施記録

2023年2月15日 KS

1. 山行名	高麗山(168m)・湘南平(181m)大磯邸園・大磯城山公園散策 [神奈川県]			
2. 実施日	2023年2月11日[土] 日帰り 公共交通機関利用			
3. 天候/参加人員	天候：晴れ レベル：★ 参加者：17名(男性4名/女性13名)			
4. パーティスタッフ	省略			
5. 参加メンバ	省略			
6. 費用 (本厚木を起点として) 1,444円/人	【内訳】 (小田急線本厚木～JR厚木＝¥126, JR線線茅ヶ崎～大磯＝¥418 神奈中バス大磯駅～城山公園前＝¥178) × 2(往復) = ¥1,444			
7. 歩行/行動時間		歩行時間	休憩・バス移動時間	行動時間
	ガイドブック	—	—	—
	計画	5:20	1:25	6:45
	実行	4:30	2:10	6:40

## 8. 実行コースタイム記録

小田急線	JR相模線	JR東海道線	(10)	(体操他10)	30	(休憩5)
本厚木駅	厚木駅	茅ヶ崎駅	大磯駅	高来神社	高麗山	
7:49	7:50/8:02	8:26/8:35	8:44/8:55	9:10/9:25	9:55/9:00	
60	(昼食60)	30				
浅間山	湘南平	曾我十郎硯水の池	楊谷寺谷戸横穴群			
9:30	11:00/12:00	12:10	12/30			
30	神奈中バス 10	自由散策(120)	神奈中バス	10		
大磯駅	城山公園前	旧吉田邸・大磯城山公園	城山公園前	大磯駅	大磯駅にて解散	
13:00/13:06	3:16		15:23		1	
5:35	15:45					

## 9. コースの概要、特記事項、反省事項等

前日は厚木地区でそこそこの降雪があり心配したが、当日は嘘のような快晴でラッキー！参加者は総勢17名。大磯在住のTEさんが大磯駅で出迎えてくれ、高来神社まで道案内をしてくれた。国道1号線から旧道に入り、東海道の名残の松を見ながら歩くこと15分。高来神社では、もう一人の大磯住民のSTさんが待っていた。簡単な体操とオリエンテーションののち、神社の裏手から高麗山を目指してハイキング開始。先頭はSLのSTさん。今日のコース(関東ふれあいの道)は彼が重いカメラをもってほぼ毎日歩くホームグラウンド。前日の雨で足元が滑りやすいことを考慮し、4本ある道のいちばん東よりの緩やかなコースを選ぶ。長い石段を上り、高麗山(167.3m)の山頂に到着。ここまで30分。高麗山はその名のとおりに、今から1500年も前の遣隋使・遣唐使の時代に高句麗からの渡来人が移住した土地とのこと。奥の院広場を過ぎ、ここから樹林帯の尾根が始まる。眺望は良くないが、八俣山、浅間山(181.3m)へと緩やかなアップダウンを繰り返しながら、快調に歩く。早春の日差しと温かさが実に心地よい。途中、開けた場所があり、早咲きの桜がちらほら咲いていた。この場所は、2月後半になるとレンジャクという渡り鳥がほんの1週間ほど滞在する貴重な広場で、その時は多くのカメラマンで賑わうのだそう。高麗山から1時間ほどで、森を抜けた先に巨大なテレビ塔が見えてきた。階段を上ると標高181mの湘南平。待っていたのは360度のパノラマビュー。相模湾がきらきら輝いてとてもきれい。ここで約1時間のお昼タイム。食後にちょっとご愛敬のゲームをして、展望台からの景色を堪能し、皆で下山開始。途中、曾我十郎の硯水の池、楊谷寺横穴群を経由して大磯駅まで1時間歩く。当初予定していた明治記念館大磯邸園は、整備工事の最中のため、スキップしてバスで吉田邸・城山公園に向かう。吉田邸は火事で全焼したのち、数年前に復元された別荘。吉田邸と城山公園(旧三井邸)は隣接しているが、広大な敷地面積で、歩くところの歩数である。STさんのガイドで城山公園をしっかりと回る。2時間ほど散策し、バスで大磯駅に戻る。その後、3時45分頃大磯駅にて解散。各自三々五々帰宅した。

湘南平は標高200メートル未満の低山だが、周囲に障害物がないので、神奈川のすべてが見える最高の展望地である。徒歩でなくても車やバスの便もある。気軽に訪れて眺望を楽しむ絶好の場所。高麗山・湘南平の1周で約3時間弱の歩程。吉田邸・城山公園をいれて約25000歩。全体的に整備された、しっかりした山道で、注意が必要な部分が

数か所あり、慎重な歩きがもとめられる。ほどほどのアップダウンで、手ごろなハイキングコースであった。

最後に、地元会員の ST さん、TE さんには 1 日参加者にお気遣いいただき、感謝申し上げたい。特に ST さんには事前の下見にお付き合いいただき、ガイドブックからは拾えない地元の情報や貴重なアドバイスをいただいた。先頭指揮はかっこよかった。TE さんは入会して数か月にもかかわらず、先輩会員と打ち解けて細やかな配慮をされていた。おかげで参加者は全員湘南の 1 日を堪能することができた。レンジャクに会いにぜひ再訪したい。 —以上—